

大特集

イチバン手軽で清潔に冬

の部屋をうるおせるのはどれ?

加湿器 No.1 決定戦

8畳以上用
&
5畳以下用



- 象印マホービン
- 三菱重工
- 東芝
- アイリスオーヤマ
- 山善
- Panasonic
- バルミューダ
- KOIZUMI
- SHARP

- ダイソン
- cado
- TaoTronics
- スリーアップ
- CORONA
- maxzen
- APIX
- ダイニチ

2020 WINTER

乾燥対策にはもってこいのモノといえば加湿器。だがタイプが色々あって、どれを買うか迷う人も多いはず。その悩みに応えるため代表機種全20台の加湿性能、清潔性などを徹底検証。最強の1台を決めた!

取材・執筆：編集部 モデル：葉月祥子（スペースクラフト） 撮影：小西範和

我慢せずに
加湿器で
解決!!

乾燥する
季節の
悩みは...

色々タイプがあるけれど……

「う」のか分からない!

「加熱式」「気化式」「超音波式」「ハイブリッド式」

どれが一番「潤」

たくさんありすぎて

そこで 4タイプ×2サイズの計20台

を5つの項目からガチ検証! //

本題に入る前に 医師に聞いた 加湿器のQ&A



何をかうのが正解なの?



最強の1台を決めました!!

清潔で楽で加湿も◎な

8畳以上に対応

東芝 KA-X60
実勢価格▶ 1万464円

SPEC サイズ: W26.4 × D25.7 × H30.2cm 重量: 約3.5kg (コードセットを含む) タンク容量: 約4リットル

三菱重工 roomist SHE60SD
実勢価格▶ 1万1752円

SPEC サイズ: W22.1 × D29.7 × H30.8cm 重量: 4kg タンク容量: 4リットル

象印マホービン EE-DA50
実勢価格▶ 1万6800円

SPEC サイズ: W24 × D27.5 × H36.5cm 重量: 2.8kg タンク容量: 4リットル

デザイン Pure Humidify +Cool
実勢価格▶ 8万8000円

SPEC サイズ: W31.2 × D31.2 × H92.3cm 重量: 8.3kg タンク容量: 5リットル

パルミューダ Rain
ERN-1100UA-WK
実勢価格▶ 5万6000円

SPEC サイズ: 直径35 × H37.4cm 重量: 5.7kg タンク容量: 4.2リットル

Panasonic FE-KXS07
実勢価格▶ 2万2260円

SPEC サイズ: W37.5 × D18.6 × H37.5cm 重量: 5.2kg タンク容量: 4.2リットル

KOIZUMI KHM-5592
実勢価格▶ 1万5400円

SPEC サイズ: W28 × D26.5 × H49.2cm 重量: 5.3kg タンク容量: 6.5リットル

TaoTronics TT-AH025
実勢価格▶ 5999円

SPEC サイズ: W26 × D17.8 × H41.5cm 重量: 約1.8kg タンク容量: 6リットル

cado STEM630i
実勢価格▶ 4万9800円

SPEC サイズ: 直径27 × 高さ85.5cm 重量: 4.3kg タンク容量: 2.3リットル

maxzen KSH-MX601
実勢価格▶ 7980円

SPEC サイズ: W27.2 × D22 × H29.9cm 重量: 2.2kg タンク容量: 6リットル (加熱超音波式)

CORONA UF-H5019R
実勢価格▶ 1万1078円

SPEC サイズ: W35.5 × D36.2 × H16.5cm 重量: 5.2kg タンク容量: 4リットル (加熱気化式)

SHARP HV-J75
実勢価格▶ 1万7318円

SPEC サイズ: W27.2 × D22 × H45.5cm 重量: 5.2kg タンク容量: 4リットル (加熱気化式)

5畳以下に対応

山善 KS1-A084
実勢価格▶ 2980円

SPEC サイズ: W12 × D21.5 × H20cm 重量: 約0.9kg タンク容量: 0.8リットル

アイリスオーヤマ KSHM-260RA
実勢価格▶ 3980円

SPEC サイズ: W15 × D24.5 × H28cm 重量: 1.2kg タンク容量: 2.4リットル

SHARP HV-J30
実勢価格▶ 1万730円

SPEC サイズ: W32.2 × D15.9 × H31.6cm 重量: 2.8kg タンク容量: 2.4リットル

Panasonic FE-KFS03
実勢価格▶ 1万3720円

SPEC サイズ: W29.5 × D30.5 × H19cm 重量: 3.1kg タンク容量: 2.1リットル

アイリスオーヤマ KUHM-280B
実勢価格▶ 4980円

SPEC サイズ: W17.5 × D17.5 × H35.3cm 重量: 1.3kg タンク容量: 3リットル

スリーアップ HF-T1952WH
実勢価格▶ 5585円

SPEC サイズ: 直径20.1 × 高さ22.7cm 重量: 1.1kg タンク容量: 2リットル

ダイニチ HD-3019
実勢価格▶ 1万3480円

SPEC サイズ: W32.2 × D16.5 × H32.5cm 重量: 3.4kg タンク容量: 2.4リットル (加熱気化式)

APIX AHD-160
実勢価格▶ 8720円

SPEC サイズ: W30 × D19 × H23cm 重量: 1.9kg タンク容量: 3.5リットル (加熱超音波式)

5つの項目で徹底検証!

5 静音性

寝るときに加湿器を使いたい人も多いと思うが、その際に重要なのは「静かさ」。そこで全製品の稼働音を測定し、もっとも静かな製品を選出!

P137へ

4 電気代の安さ

清潔に加湿もできるのは分かったけど、電気代が……という人のために、実際に使用した際の1時間の電気代を算出。懐に優しいのはどれ?

P136へ

3 使い勝手

日常使いするのに、面倒なのはイヤ! ということで水の補給のしやすさをメインに、タイマー設定や手入れのしやすさなどを徹底比較!

P134へ

2 加湿性能

「加湿」器なのに、これがピミョーなら意味はない。全製品の加湿力を同一条件下で測定し、もっともムラなく部屋をうるおせる一台を決定!

P130へ

1 清潔性

菌が溜ったミストで部屋がしょっとりなんて、もってのほか! 実際に製品を使用し、菌の発生具合をチェック。もっとも清潔だったのは「あの」タイプ!

P128へ

今回検証するのはリビングに置き、日中の乾燥を潤すのに最適な8畳以上対応の製品を12台と、寝室に置き睡眠中の無防備なノドと肌を守るのに最適な5畳以下対応の製品を8台の全20台で、各々からベストバイを選出する(量数は木造和室の場合)。

加湿器を未購入の人はもちろんのこと、今まさに使っている人も遅くはない。本特集を参考に、乾燥に悩む毎日にもうサヨナラをすることにしよう!

寒い時期にもっとも人を悩ませるものといえばズバリ乾燥。肌がガサガサになったり、ノドが痛くなったりで大変な思いをしている人も少なくないはず。そんな悩みを解決できるのが「加湿器」。今まさに本特集を読みながら使っている人もいるかもしれない。だけどその加湿器、本当に大丈夫? 加湿はもろろん、清潔さは大丈夫?

加湿器を選ぶ際、あまり気に留めることは少ないが、もっとも重要視すべきは細菌などの発生しづらさ、つまり清潔さ。いくら加湿されるといっても、そのミストが菌まみれだとしたら、衛生的にも精神的にも嫌なはず。そこで今回は「加湿方式を検証で決定。その上で部屋中をしっかりと潤す。手間をかけずに加湿できる一台を決めることにした。

Q1 加湿する最大のメリットは?

A. 肌を保湿できること!

乾燥すると肌が本来持っているバリアのような機能が損なわれ、肌荒れなどが起きます。それを防ぐためにも加湿は重要です。

Q2 風邪が防げるって本当?

A. そうい話も一応アリ!

加湿によって有害なバイ菌の侵入を防ぐノドの細胞の活性が上がり、結果風邪にかりづらくなるという話は一応ありますね。

Q3 どの加湿方式がいい?

A. 加熱式がオススメ!

煮沸により殺菌され、清潔さが保たれることとなる加熱式がいいのではないのでしょうか。私も加熱式を自宅で使用しています。

Q4 効果的な使い方は?

A. 就寝時に使いましょう!

自発的に水分補給ができずノドが乾いてしまいがちな寝ている間に使うのがいいかもしれません。

Q5 ミストの勢いは重要?

A. 勢いより湿度の一定さが重要!

勢いというよりミストによって湿度が一定なのが重要でしょう。具体的には60%あたりに保たれるのが望ましいです。

Q6 タンク内に菌が増えるとうなる?

A. 菌がばらまかれるかも!

タンクや本体内で細菌が増えると、当然噴出されるミストにも菌が含まれてしまい、結果的にばらまかれる可能性はあります。

冬の乾燥を忘れさせる一台ははたしてどれ?

こまめな手入れも必要不可欠です

五本赤羽クリニック院長 森満おさむ先生

専門は一般診療・泌尿器科。「日本一の町医者」を目指し診療・研究に務める。最新刊『意識高い系』がハマる「ニセ医学」が危ない! が好評発売中



清潔度を
タンク内に検証!

1週間使い続けたにもかかわらず菌が

タンク内も
蒸気も

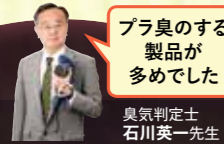
清潔さは加熱

少しも発生することがなかった

式がダントツ!

Part I
清潔度

こっちは
検証!



プラ臭のする
製品が多
めでした
臭気判定士
石川英一先生

臭いってどうなの?

加熱式 製品由来の臭いが
少しすかも

臭い指数 1.5
象印マホービン
EE-DA50
実勢価格▶1万6800円
加熱の影響なのか製品由来
のプラスチックのような臭い
が感じられる製品があった
が、特に問題になるようなも
のではない

気化式 フィルター部分が
臭う場合アリ

臭い指数 2.5
KOIZUMI
KHM-5592
実勢価格▶1万5400円
KOIZUMI などホコリっぽい
臭いがするものもあったが、
数値は全体的に低め。ただ
フィルター掃除を怠ると、臭
いが発生する恐れがある

超音波式 臭いが気になる
製品が多め

臭い指数 3.0
cado
STEM630i
実勢価格▶4万9800円
5製品とも臭い指数2.0~
3.0をマーク。特にcadoは
薬っぽい臭いがあった。ミス
トに臭いがあるので、部屋中
に拡散してしまうかも

ハイブリッド式 加熱のせいで
臭いが出やすい

臭い指数 3.5
ダイニチ
HD-3019
実勢価格▶1万3480円
加熱式と同じで熱により製品
由来のプラスチック臭が漂う
が、数値はCORONAを除
きいずれも3.0以上と加熱式
より高くなった

検証方法

臭気判定士が嗅いで判定

全製品を1週間
稼働させた後、ミス
トを臭気判定士の
石川先生に嗅いで
もらい臭い指数(1
~5、数値が高い
ほど臭いが強い)を
出していただいた。

イヤな臭いが
漂わないかチェック!

超音波式

1週間でこんなに発生するなんて!



ミスト内にも
細菌が!

蒸気
細菌

タンク内
細菌

細菌が
大発生!!

蒸気
真菌

タンク内
真菌

これで加湿
されるのは……

振動部分が
濡れているから
発生しやすい

真菌は
いなご……

代表製品
スリーアップ HF-T1952WH
実勢価格▶5585円

一般的に菌が発生しやすいとされる超音波式の加湿器。
残念ながら検証の結果、それが改めて示されることに。
使用する際は徹底的な手入れを日課にした方がいい

ハイブリッド式

超音波式に次いで菌が多い



残念ながら
大発生

蒸気
細菌

タンク内
細菌

わずかに
菌が

加熱温度が
低いので
菌が発生

蒸気
真菌

タンク内
真菌

真菌は
見当たらず

今回使用したのは加熱超音波式のタイプ。
加熱で殺菌されるものと思いきや、
大量発生。どうやら温度が加熱式と比
べて低かったのが原因のようだ

このミストは
遠慮したい……

こんなに菌も違った!

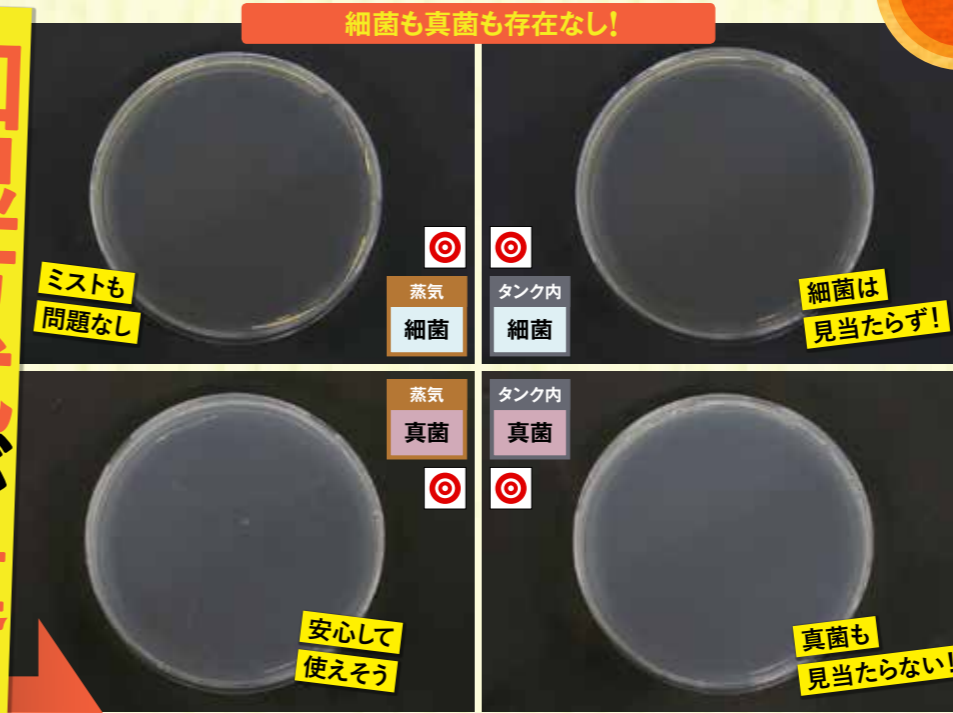
もっとも清潔なのは
加熱式で間違いなし!

菌が加湿器内で増えるそれが
がミストとともに拡散され、病
菌などになる可能性がある。そ
のため、清潔さはとっても重要。
一般的に「加熱式は発生しづら
い」「超音波式は発生しやすい」と
されるが、その真偽も含め検証
を行うと、なんとその通りの結
果に! 加熱で菌の発生を抑え
られるのは間違いのないと言え
るだろう。ただ同じく加熱される
ハイブリッド式は温度が低いう
え、今回検証に使用した製品が
加熱超音波式だったためか、菌
が発生。もっともSHARPの
HVJ75のような加熱+気化タ
イプの場合は、気化式と同じく
菌も少なくなるかもしれない。
また気化式についても、
dysonのように製品に紫外
線による菌を抑える機能が搭載
されているものもあるので、あく
まで傾向程度にとめておこう。

※菌の画像は採取した水を一定条件下で培養させた結果のものです

加湿方式が違うと

で1週間使ってみた結果



細菌も真菌も存在なし!

ミストも
問題なし

蒸気
細菌

タンク内
細菌

細菌は
見当たらず!

安心して
使えそう

蒸気
真菌

タンク内
真菌

真菌も
見当たらない!

加熱式

代表製品
山善
KS1-A084
実勢価格▶2980円



加熱式は
菌が発生
しづらい

やはり煮沸されるからか、1週間使用しても菌の
発生がなかった加熱式が一番清潔に使えと言
えるだろう。もっとも「絶対」はないので、マメ
な手入れは怠らないようにしておきたい



わずかに菌が発生した

ミストには
細菌が!

蒸気
細菌

タンク内
細菌

タンク内は
清潔

真菌も発生
していた!

蒸気
真菌

タンク内
真菌

こちらも
問題なし

気化式

代表製品
Panasonic
FE-KFS03
実勢価格▶1万3720円



ミストに
わずかながら
菌が存在

たった1週間でも
ここまで菌の発生
に違いが出たこと
に驚きました!

やはり加熱式が
菌を抑えるなら
一番と言えます

編集部
海田
LAB.360 室長
松下和夫

気化式はフィルター部分が菌が繁殖する可
能性が。今回の検証でも菌の姿があった。
一方タンクは、使用した製品が空気中の菌
と触れづらい密閉できるタイプを採用して
いるため、菌は発生せず

検証で
わかった
清潔性(細菌の発生の程度)の違い!

加熱式	気化式	超音波式	ハイブリッド式
高温で煮沸されるため 菌が発生しづらい。構 造上、密閉できるタイ プのタンクである製品 が多く、そもそも菌の 入りこみも少ない	フィルターを濡れたま ま放置しておく菌が 発生し、それがミスト に混ざる恐れがある。 こまめな手入れが必要 と言えるだろう	超音波を発生させるた めのパーツに菌が発生 する。またタンクが本 体と一体型の製品の場合 だと、タンクにも菌 が発生する	加熱により菌が死滅す ると思いきや温度が加 熱式と比べ控えめなた めか、加熱超音波式だ と菌が発生してしまう ことに

検証方法
タンク内&蒸気に含まれる菌を調査!



加湿方式で
菌の数は大違い!

この検証ではまず加湿方式
別に1台ずつ製品を選び、同じ
条件の部屋で1週間連続で稼
働させた。その後タンク内
の水とミストを採取し、それを
専門機関に持ち込み菌(細菌
と真菌)を培養させ、発生した
数の測定した。



部屋の乾燥はこれでおさらば！

加熱式だけど立ち上がり早く場所に

東芝なら乾燥した部

よってもムラがほとんどなし！

部屋の隅まで潤せた！

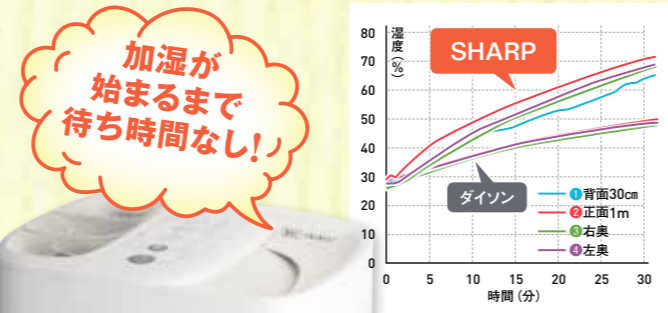
Part 2
加湿性能
[8畳以上編]

加熱式は場所によるムラがない東芝！

ブランド/製品名/価格	湿度①	湿度②	湿度③	湿度④	加湿性能(時間)	評価/総評
加湿前の湿度	28%	28%	27%	28%	なし	加湿前の湿度。ここからの数値の上昇を計測した
東芝 KA-X60 実勢価格▶1万464円 タンク容量:約4リットル	67%	68%	66%	66%	587ml	S 元の加湿力に合わせ、優れた加湿器の条件とも言えるムラのなさが際立っていた
三菱重工 roomist SHE60SD 実勢価格▶1万1752円 タンク容量:4リットル	61%	71%	72%	65%	533ml	A 東芝ほどの均一さはないが、そもそもの加湿力自体は高めだった
象印マホービン EE-DA50 実勢価格▶1万6800円 タンク容量:4リットル	48%	63%	63%	55%	387ml	B ムラが気になった。使用の際は設置場所をよく考えよう

高 加湿性能 低

すぐに部屋をうるおすならSHARP



SHARP HV-J75
実勢価格▶1万7318円

SPEC サイズ:W27.2×D22.0×H45.5cm 重量:5.2kg タンク容量:4リットル

ハイブリッド式

加熱式は時間が……そんな人にはオススメ

加熱式と異なり移動後すぐに加湿が始まるのが大きな特徴。場所によるムラが少々あるが、元々の加湿力が高いので十分に部屋を潤せる。本体の高さがあるのが、人によっては気になるかも。

SHARPが高レベルで安定！

ブランド/製品名/価格	湿度①	湿度②	湿度③	湿度④	加湿性能(時間)	評価/総評
SHARP HV-J75 実勢価格▶1万7318円 タンク容量:4リットル	64%	71%	66%	68%	640ml	A+ 安定の高さを発揮。稼働後すぐに加湿が始まるのが良い
cado STEM630i 実勢価格▶4万9800円 タンク容量:2.3リットル	91%	73%	71%	75%	440ml	A+ 90%超えの圧倒的加湿力。ムラの大きさが唯一気になるところ
Panasonic FE-KXS07 実勢価格▶2万2260円 タンク容量:4.2リットル	62%	62%	59%	60%	480ml	A SHARPと同じで比較的均一に60%近くまで加湿できた
KOIZUMI KHM-5592 実勢価格▶1万540円 タンク容量:6.5リットル	61%	59%	57%	57%	460ml	B ムラは少なめ。上位陣ほどではないが、湿度は十分上げられる
パルミーダ Rain GRN-1100UA WK 実勢価格▶5万1078円 タンク容量:4.2リットル	57%	57%	56%	56%	380ml	B 均一さにおいてはSHARP以上。若干上がり方が緩やかだった
TaoTronics TT-AH025 実勢価格▶5999円 タンク容量:6リットル	67%	48%	56%	53%	300ml	B 場所によっては十分にうるおせたが、上位陣と比べムラあり
CORONA UF-H5019R 実勢価格▶1万1078円 タンク容量:4リットル	53%	55%	51%	50%	400ml	B 均一に加湿できる。他上がり方は全製品中でもかなりゆっくり
maxzen KSH-MX601 実勢価格▶7980円 タンク容量:6リットル	57%	51%	48%	55%	340ml	B ムラはあるがタンクが大きいので、水の補充が少なくてすむ
ダイソン Pure Humidity+Cool 実勢価格▶8万8000円 タンク容量:5リットル	48%	49%	48%	49%	360ml	B 均一さは優秀。他製品と比べ湿度の上がり方が物足りなかった

高 加湿性能 低

※表の湿度は各製品を最大モードで稼働させ30分後(加熱式は45分後)に記録した数値です

東芝 KA-X60
実勢価格▶1万464円

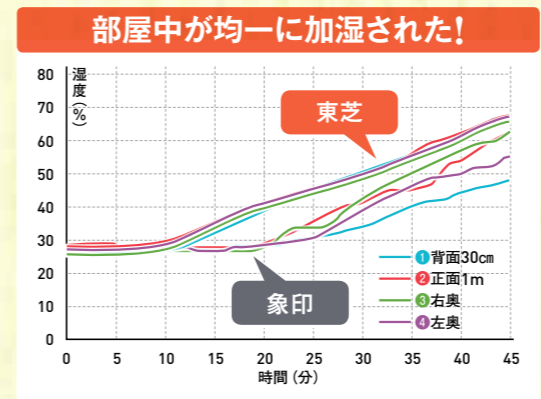
SPEC サイズ:W26.4×D25.7×H30.2cm 重量:約3.5kg(コードセットを含む) タンク容量:約4リットル

加熱式

加湿性能 8畳以上編 **S**

あますことなく加湿するならこれ！

本体内部にファンを搭載しているため、製品から離れた場所でもしっとりさせることができました！ また加湿が始まるまで時間がかかる加熱式の製品の中では立ち上がり早いのも、優秀なポイントだ。



加湿力はもちろん取り回しやすさも◎

加熱式の製品は蒸気で本体が熱くなりがちなのが難点だが、本製品は取手があるので、安全に持ち運びができる

乾燥には負けないコンタクトレシーブ

持ち手がある取り回し◎

加熱式の代表である象印と比べて一回り小さいサイズだが、性能はバツグン。アロマポットも装着可

加熱式の湿度が上がり始めるまでの時間

遅	時間	早
象印マホービン EE-DA50 実勢価格▶1万6800円	19分	
三菱重工 roomist SHE60SD 実勢価格▶1万1752円	9分	
東芝 KA-X60 実勢価格▶1万464円	7分30秒	

製品

時間

評価

B 他製品よりもかなり時間がかかる結果に。ムラも比較的大きかった

A 東芝より少し時間がかかった。加湿は場所によって若干のムラあり

S 3製品中ではもっとも早く湿度が上がり始め、その後の上昇も一定



検証でわかった 方式による湿度上昇の違い

加熱式 水を沸かす必要があるため湿度が上がり始めるまで時間が必要。急な加湿には向かない

気化式 稼働後すぐに湿度が上がり始め、ムラも少ない。60%あたりで上がり方が緩やかになる

超音波式 急激に湿度が上がるが場所ムラが大きく、製品によっては10%近く差が出たものも

ハイブリッド式 気化式と同じ傾向だが、製品によってはムラがあったり加湿が始まるまで時間がかかった

検証方法

4箇所の湿度の上がり方をセンサーで計測

場所による差も調べました

温度と湿度を一定に保てる部屋(恒温室)の4箇所(①~④)、1メートルの高さにセンサーを設置。各製品を最大モードで30分間(加熱式は沸騰までの時間を考慮し45分)稼働させ湿度変化と加湿性能(一定時間で放出する水の量)を測定。



アイリスに軍配が上がった!

ブランド/製品名/価格	湿度①	湿度②	湿度③	湿度④	加湿性能(時間)	評価/総評
加湿前の湿度	28%	28%	27%	28%	なし	加湿前の湿度。8畳以上と同じ条件で測定
アイリスオーヤマ KSHM-260RA 実勢価格▶3980円 タンク容量:2.4リットル	45%	44%	45%	42%	240ml	A 同方式の8畳以上用製品と比べ、ムラが少なく安定していた
山善 KS1-A084 実勢価格▶2980円 タンク容量:0.8リットル	41%	41%	42%	41%	173ml	B 全製品中で最小サイズとタンク容量だがムラがなく十分な性能

トップ2製品の安定感が際立つ!

ブランド/製品名/価格	湿度①	湿度②	湿度③	湿度④	加湿性能(時間)	評価/総評
SHARP HV-J30 実勢価格▶1万730円 タンク容量:2.4リットル	47%	48%	46%	46%	290ml	S 8畳以上用でも優秀な成績を残したSHARPがトップに。稼働時間が長いのも寝室使用には助かる
Panasonic FE-KFS03 実勢価格▶1万3720円 タンク容量:2.1リットル	48%	48%	48%	46%	300ml	S SHARPとサイズ感も加湿力もほぼ同等だった。タンク容量はこちらの方が少し小さめ
ダイニチ HD-3019 実勢価格▶1万3480円 タンク容量:2.4リットル	48%	47%	43%	44%	260ml	A 上の2製品と比べ多少のムラはあるが、高い加湿力を発揮
APIX AHD-160 実勢価格▶8720円 タンク容量:3.5リットル	60%	38%	45%	42%	260ml	B 本体近くだと大型機種並みの加湿力。場所ムラが気になる
アイリスオーヤマ KUHM-280B 実勢価格▶4980円 タンク容量:3リットル	52%	37%	42%	34%	200ml	B こちらもばらつきあり。加湿が始まるまでが早いのは利点
スリーアップ HF-T1952WH 実勢価格▶5585円 タンク容量:2リットル	36%	37%	37%	39%	240ml	C ミストの勢いの割に加湿力に欠ける。本体のデザインは◎

残念... 一見ミストの勢いはいいけれど 肝心の加湿性能はビミョーでした

ミストの勢いがいいからといって加湿性能が◎ではないんです!

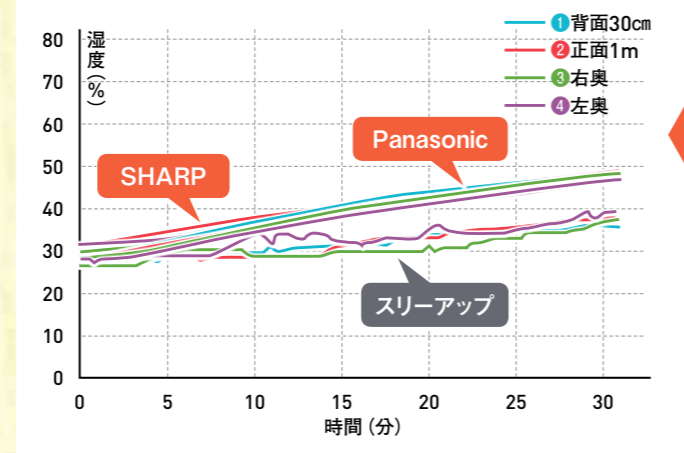
全製品中トップクラスのミストの勢いを見せたスリーアップ。当然加湿性能もダントツ……との期待もむなしく、どの場所でも湿度40%超えを果たせない残念な結果に。加湿器選びの際には「ミストの勢い=加湿性能の高さ」ではないことを頭においておいた方がよさそう。

いかに加湿させようかに

一般的には加湿性能が

気化式の製品が

ワーストとは最終的な湿度に10%の差が!



やはり「ムラのなさ」に大きな差が出た!

加湿性能ベストとワーストを比べると単純な湿度の上がり方はもちろん、均一さの違いが目瞭然。寝るにつければ翌朝目が覚めた際に「乾燥で喉が痛い……」というような経験もなくなるはずだ。

朝まで部屋が乾くことなし

水がすぐなくなるけれど すきま時間に使うならアリ!



山善 KS1-A084 実勢価格▶2980円

SPEC サイズ:W12xD21.5×H20cm 重量:約0.9kg タンク容量:0.8リットル

テーブルやデスクサイドで使うのがオススメ

タンク容量が小さいため水切れが早く補充の手間がかかるのが悩ましいが、コンパクトなので場所を選ばず設置できるのが利点。食事時のテーブルに置いて使うなら十分な性能だ。

イマイチとされるはずの

まさかの No.1だった!

気化式 加湿性能 5畳以下編 S

Panasonic FE-KFS03

実勢価格▶1万3720円

SPEC サイズ:W29.5×D30.5×H19cm 重量:3.1kg タンク容量:2.1リットル

就寝時でも乾燥の心配なし

睡眠中の加湿はおまかせ!

SHARP HV-J30

実勢価格▶1万730円

SPEC サイズ:W32.2×D15.9×H31.6cm 重量:2.8kg タンク容量:2.4リットル

場所を選ばず加湿性能◎

気化式 加湿性能 5畳以下編 S

水切れの可能性

製品	水切れの可能性	稼働時間	評価
山善 KS1-A084	加熱式	3時間45分	B
APIX AHD-160	ハイアフリット式	5時間47分	B
スリーアップ HF-T1952WH	超音波式	6時間27分	A
アイリスオーヤマ KUHM-280B	超音波式	6時間33分	A
アイリスオーヤマ KSHM-260RA	加熱式	6時間52分	A
ダイニチ HD-3019	ハイアフリット式	7時間11分	S
Panasonic FE-KFS03	気化式	7時間42分	S
SHARP HV-J30	気化式	7時間51分	S

なんと8時間近く使える! 就寝時に使うからには「寝ている最中に水が切れた!」という事態は避けたい。そこで各製品を満水にし、最大モードでの稼働時間を測定した結果、こちらもSHARPとパナがベストとなった!

朝起きてもタンクの中に水がまだ入っていました

ほぼ互角な性能の2製品がベストに!

8畳以上対応の製品の次は、5畳以下対応の製品をチェック。大型機種ほどの加湿力はないが、小型なのでどこでも使える。特にこの時期は就寝時の乾燥対策として寝室やベッドサイドで使うのがオススメだ。

全8製品の加湿性能を検証した結果、なんと一般的には他方式と比べ加湿力がイマイチとされる気化式のSHARPとPanasonicの2製品がトップに! 単純な湿度の上がり方では湿度60%を記録したAPIXなどのこれより優れた製品もあったが、やはり場所によるムラがほぼなかったことがベストの理由だ。また満水時の稼働時間が他製品と比べ長く、水の補充などまずできるはずがない就寝中でも、水切れの心配がないことが何よりもありがたかった。就寝時のノドや肌を、しっかりと潤しておしてくれるはずだ。

ちなみに今回検証した製品の中には、スリーアップなどのようにミストが派手に噴き出し、いかにも「加湿力◎」というようなモノもあったが、ムラがあったりそもそも加湿性能が低かったりと、ベスト2製品ほどの安定性には欠ける結果に。「なんか期待と違う……」ということにならないように、加湿器を買う際は、一見の印象で選ぶことは避けよう!



サイズ感が気になるけど 水の補充のしやすさも

バルミューダが 何かにつけて

タイマーの細かさも◎な 便利でした!

Part 3
使い勝手

タイマー編 バルミューダなら1時間ごとに設定可能!

細かく設定可 ← タイマー設定 → 細かく設定不可

この細かさは 唯一無二

タイマー設定の細かさ S

バルミューダ
Rain ERN-1100UA-WK
実勢価格 ▶ 5万600円
代表製品 maxzen KSH-MX601(OFFのみ)

不便さは 感じない!

タイマー設定の細かさ A

ダイソン
Pure Humidify + Cool
実勢価格 ▶ 8万8000円
代表製品 Panasonic FE-KFS03
ダイニチ HD-3019など10製品

日常使いには 問題ナシの細かさ
設定が3~6段階のもの。ダイソンだと30分、1・2・4・6・8時間まで設定可(OFFのみ)。普段使いには文句なしの細かさだ。

シンプルなもの 考えものかも

タイマー設定の細かさ B

TaoTronics
TT-AH025
実勢価格 ▶ 5999円
代表製品 山善 KS1-A084 SHARP HV-J30など8製品

もっと細かい方が使いやすい
設定可能時間が2段階以下&ナシのもので、小型や低価格帯の製品に多い。毎日使うからこそ、その度にスイッチを入れたり切ったりするのはやはり手間を感じてしまう。

手入れ編 口が広い製品の方が掃除は手軽!

楽

口が広い製品 → すぐ洗える //

APIX AHD-160
実勢価格 ▶ 87200円
代表製品 スリーアップ HF-T1952WH 象印マホービン EE-DA50 など

隔々まで洗やすい
広口タイプのもは手が入りやすく構造がシンプルなので、長く使うと溜まりがちな水道水のカルキ汚れも取りやすい。

面倒

タンク内蔵型 → 外す手間があり //

ダイニチ HD-3019
実勢価格 ▶ 1万3480円
代表製品 東芝 KA-X60 Panasonic FE-KXS07 など

細部が洗づらい
タンクのはめこみ部など、凹凸が多いため、細部まで手が届かないことが。スポンジのほか、細かいブラシなども用意する必要あり。

独特の見た目&操作 だけどすぐ便利!

清潔に加湿できても、使い勝手が悪かったら日常使いの製品としては厳しいところ。特に水の補充など、毎日行う必要があるものについては、すこしでも楽をしたいものだ。

今回、全製品を使用したところ、バルミューダの使い勝手の良さが光った。水の補充はフタも外さず上から注ぐだけ。タイマーも1時間ごとに最大で24時間まで

で設定可能と、細かいところまで配慮された作りとなっている。本体上部のリングによる操作もはじめこそ戸惑うが、慣れれば直感的に操作できて快適。少々大きめのサイズ感が気にならないなら、バツグンの使い勝手の良さを感じられるだろう。

また手入れについては手が細かいところまで届くという点で、広口の製品が楽。長期間使用すると溜まりがちな水道水のカルキ汚れも取りやすく、清潔さを保ちやすい。

手間いらずなのは「上から注ぐ」タイプ! 水の補充編

楽

フタを外して補充するタイプ //

象印マホービン EE-DA50
実勢価格 ▶ 1万6800円

手が濡れる! 心配もない!

水の補充しやすさ A

代表製品 スリーアップ HF-T1952WH APIX AHD-160 など5製品

タンクを出す手間いらず!
フタを開け、あとは水をジャーっと入れるだけで給水完了。本体をあれこれ触る必要がないので快適だ。5畳以下用の小型製品に多い。

外付けタンクタイプ //

山善 KS1-A084
実勢価格 ▶ 2980円

取り外しは 楽にできる

水の補充しやすさ B

代表製品 アイリスオーヤマ KSHM-260RA SHARP HV-J30

補充の度に取り外す必要アリ
タンクは本体の外についているので、取り外し自体は手軽に可能だ。ただタンクのキャップをその都度開閉する必要があるのが若干面倒。

中にタンクor本体を返して補充タイプ //

Panasonic FE-KXS07
実勢価格 ▶ 2万2260円

一タ出すのが 大変です

水の補充しやすさ C

代表製品 CORONA UF-H5019R など9製品

メジャーなタイプだけど……
一番見かけるタイプだが毎日のようにフタを外し、タンクを出して給水と繰り返すのはやはり手間。

楽

バルミューダ
Rain ERN-1100UA-WK
実勢価格 ▶ 5万600円
SPEC サイズ:直径35×H37.4cm 重量:5.7kg タンク容量:4.2リットル

タンクを出す手間も フタを外す手間もない!
補充の際に一番楽なのは上から入れるタイプ。中でもバルミューダは快適で、同じ上から入れるタイプでも補給口が小さいSHARPなどと違って口が大きく、まさしく「かける」という表現がぴったり。満水時は水量センサーが感知して、自動で知らせてくれるのも便利!

代表製品 KOIZUM KHM-5592 SHARP HV-J75

何もせずに注ぐだけで 補給完了!

水の補充しやすさ S

気化式

水の補充しやすさ S

温度・風量は リングで操作

検証でわかった 水の補給など使い勝手の違い!

水の補給	タイマー設定	手入れ
ダントツで上から注ぐタイプの製品が手間いらず。ほぼ毎日行う必要があるからこそ、手軽さを追求すべき。タンク内蔵タイプは取り外しも、持ち運びも大変。手も濡れやすい	1時間刻みでセットできるバルミューダの便利さが際立つ。ついで6段階のダイソンが細かい。8畳以上用はほぼ全てタイマー搭載だが、小型機種は設定できないもの多め	基本的に手入れはどれも大変なのだが、広口の製品は手が入りやすいので、煩わしさは感じずに済む。タンク内蔵式は構造が複雑で、細かい場所に溜まった汚れを落とすにくい

検証方法

とにかく使いまくって気になった点を探しました!

メンテナンス性も 調べてみた

いくら性能が良くても使い勝手がビミョーだったら、毎日使う気は起きないだろう。そこで全製品を使い、毎日行うであろう水の補充を中心に、タイマー設定の細かさ、手入れのしやすさなど「いかに楽に使えるか」を検証した。

惜しいことに 加湿性能はあと一歩だけど スリーアップがほぼ無音

Part 5 静音性

小型機種ほど静音性に優れる結果に

評価 S ほぼ無音! 睡眠時でも問題なし

アイリスオーヤマ KSHM-260RA 実勢価格▶3980円

山善 KS1-A084 実勢価格▶2980円

スリーアップ HF-T1952WH 実勢価格▶5585円

Tao Tronics TT-AH025 実勢価格▶5999円

39.4 dB(A)

39.2 dB(A)

38.8 dB(A)

39.1 dB(A)

少しも気にせずにグッスリZZ

ほぼ無音で使えるのがこれら4製品。ただ加熱式はお湯が沸くコポコポ音が気になるかもしれない

評価 A 多少の音はするが邪魔には感じない

アイリスオーヤマ KUHM-280B 実勢価格▶4980円

三菱重工 roomistSHE60SD 実勢価格▶171752円

東芝 KA-X60 実勢価格▶17464円

maxzen KSH-MX601 実勢価格▶7980円

APIX AHD-160 実勢価格▶8720円

ダイニチ HD-3019 実勢価格▶173480円

SHARP HV-J30 実勢価格▶1773円

象印マホービン EE-DA50 実勢価格▶176800円

KOIZUMI KHM-5592 実勢価格▶17540円

Panasonic FE-KFS03 実勢価格▶173720円

40.1 dB(A)

40.4 dB(A)

40.4 dB(A)

40.5 dB(A)

40.5 dB(A)

40.6 dB(A)

42.3 dB(A)

42.4 dB(A)

42.5 dB(A)

44.2 dB(A)

これくらいの音だったら全然平気

噴出音があるかもしれないが、頭の高さには届かない。うるささは特に感じないまま、眠りに落ちることができるはずだ

評価 B 人によっては音が気になる場合が

Panasonic FE-KXS07 実勢価格▶2万2260円

cado STEM630i 実勢価格▶4万9800円

バルムューダ Rain ERN-1100UA-WK 実勢価格▶5万600円

SHARP HV-J75 実勢価格▶1万7318円

ダイニチ Pure Humidify+Cool 実勢価格▶8万8000円

47.2 dB(A)

48.5 dB(A)

54.3 dB(A)

48.8 dB(A)

46 dB(A)

48.6 dB(A)

ちょっとうるさいかも

サイズ大きめの製品が多め。また気化式の場合だと、空気が流れる「シュー」というような音が

就寝時にあると少し静かな感じがほしい。加湿性能があと一歩及ばずだったスリーアップがトップの座に。ただ加湿性のトップであった東芝も十分に静かなので、寝室でも問題なく使えるはず。また今回の検証では全製品、最大モードで使用したのが、SHARPのHV-J75のように睡眠時向けの静音モードを搭載している場合もあるので、あくまで参考程度と考えよう。

加湿方式別静音性の違い

加熱式: 大きくなりがち、水を沸かす際の沸騰音がする

気化式: 空気を送る際の風切り音のような音が気になることも

超音波式: 大型機種だと噴出音がするが、基本的に静音性は高い

ハイブリッド式: 加熱気化式の場合、やはり空気を送る音が聞こえる場合がある

検証方法

最大モード時の騒音は?

暗騒音38.4dB(A)の部屋で、製品から1メートルの位置に騒音計を設置。その後各製品をそれぞれの最大モードで稼働させ、その際の騒音を計測した。

どうせなら静かに使いたい!

※ダイニチ Pure Humidify + Coolについては扇風機として使用した際の騒音値となっており、加湿モードのみを使用した際は数値がさらに小さくなります

8時間使っても 5畳→0.8円、8畳→3円の パナソニックがベスト!

Part 6 電気代の安さ

加熱式は電気代高め!

評価	ブランド/製品名/価格	対応畳数	電気代(1時間)
S	Panasonic FE-KFS03 実勢価格▶1万3720円	5畳以下	0.1円
S	SHARP HV-J30 実勢価格▶1万731円	5畳以下	0.12円
S	Panasonic FE-KXS07 実勢価格▶2万2260円	8畳以上	0.41円
A	バルムューダ Rain ERN-1100UA-WK 実勢価格▶5万600円	8畳以上	0.52円
A	アイリスオーヤマ KUHM-280B 実勢価格▶4980円	5畳以下	0.64円
A	スリーアップ HF-T1952WH 実勢価格▶5585円	5畳以下	0.68円
A	Tao Tronics TT-AH025 実勢価格▶5999円	8畳以上	0.71円
B	ダイニチ Pure Humidify+Cool 実勢価格▶8万8000円	8畳以上	1.01円
B	cado STEM630i 実勢価格▶4万9800円	8畳以上	1.13円
B	APIX AHD-160 実勢価格▶8720円	5畳以下	2.98円
B	ダイニチ HD-3019 実勢価格▶1万3480円	5畳以下	2.99円
B	山善 KS1-A084 実勢価格▶2980円	5畳以下	5.13円
B	CORONA UF-H5019R 実勢価格▶1万1078円	8畳以上	5.66円
B	maxzen KSH-MX601 実勢価格▶7980円	8畳以上	5.99円
B	アイリスオーヤマ KSHM-260RA 実勢価格▶3980円	5畳以下	6.23円
B	SHARP HV-J75 実勢価格▶1万7318円	8畳以上	8.28円
B	KOIZUMI KHM-5592 実勢価格▶1万540円	8畳以上	8.32円
C	象印マホービン EE-DA50 実勢価格▶1万6800円	8畳以上	12.65円
C	三菱重工 roomist SHE60SD 実勢価格▶1万1752円	8畳以上	13.17円
C	東芝 KA-X60 実勢価格▶1万464円	8畳以上	15.95円

Panasonic FE-KXS07 実勢価格▶2万2260円

SPEC サイズ:W37.5×D18.6×H37.5cm 重量:5.2kg タンク容量:4.2リットル

1日使っても10円以下!

加湿性能検証で優秀な成績を残した本製品は、電気代も安め。ノドだけではなく懐にもやさしく加湿器だ!

大型機なのに小型機並みの電気代!

最下位との1時間あたりの電気代の差 約15円

加熱式

東芝 KA-X60 実勢価格▶1万464円

電気代の安さ 8畳以上編 S

Panasonic FE-KFS03 実勢価格▶1万3720円

SPEC サイズ:W29.5×D30.5×H19cm 重量:3.1kg タンク容量:2.1リットル

1日使っても電気代は3円以下

小型機でもパナが経済的

8畳以上編と同じく、こちらもPanasonicが最安という結果になった。加湿性能も高いので、言うことなしだ。

最下位との1時間あたりの電気代の差 約6円

気化式

電気代の安さ 5畳以下編 S

加熱式はやはり電気代高め

アイリスオーヤマ KSHM-260RA 実勢価格▶3980円

安く使うなら気化式 加熱式は全体的に高め

性能と同じく、やはり使うには気になるのが電気代。ということでも全製品の料金を測定した結果、方式により大きな違いが、やはり熱を使う加熱式は高く、一方の気化式は大型機種でも安いことがわかった。

8畳以上、および5畳以下のどちらでもベストとなったのはPanasonic。気化式特有のこまめなフィルター掃除が必要だが、加湿性能は高いので使ってみる価値は十分アリだろう。

検証方法

加熱方式別電気代の違い

加熱式: 水を沸かす必要があるため電気代が高め

気化式: 風を送るだけなので大型機種でも安いものが多い

超音波式: 気化式と同じく振動でミストを発生させるため控えめ

ハイブリッド式: 加熱の必要があるので、加熱式に次いで高めの製品が多い

検証方法

ワットモニターで電気代を測定!

全製品を消費電力量や電気代を自動で測定してくれる「ワットモニター」についで使用。1時間稼働させたのちに表示された電気代を記録し比較した。

一番経済的に使えるのは?

結論

つけた最強の1台は

検証の結果決ま

東芝

5畳以下
向け製品なら

シャープで決まり!

ムラなく
清潔に部屋を
うるおせる!

8畳以上
向け製品なら

最強

8畳以上用

加湿器ランキング

最強

5畳以下用

加湿器ランキング

順位	ブランド/製品名/価格	清潔さ	加湿性能	使い勝手	電気代の安さ	静音性	総評
1位	東芝 KA-X60 実勢価格▶1万464円 タンク容量:約4リットル	S	S	B	C	A	加熱式なので菌が発生しづらく、ムラのなさも◎。電気代はかかるが、それがかすむ性能
2位	三菱重工 roomist SHE60SD 実勢価格▶1万1752円 タンク容量:4リットル	S	A	B	C	A	東芝と同じ傾向。少し加湿ムラがあるが、それでも気になるようなレベルではない
3位	バルミューダ Rain ERN-1100UA-WK 実勢価格▶5万600円 タンク容量:4.2リットル	A	B	S	A	B	群を抜いて水の補充が楽で、独特の操作も快適。加湿性能も均一で安定していた
4位	SHARP HV-J75 実勢価格▶1万7318円 タンク容量:4リットル	A	A+	A	B	B	加湿性能はバツグン。補充も上から注ぐだけで楽。全体的なバランスがとれた一台だ
5位	象印マホービン EE-DA50 実勢価格▶1万6800円 タンク容量:4リットル	S	B	A	C	A	煮沸に時間がかかるが、加湿力は高い。構造がシンプルで手入れしやすいのもいい
6位	Panasonic FE-KXS07 実勢価格▶2万2260円 タンク容量:4.2リットル	A	A	B	A	B	加湿力を含め、高いレベルでまとまった1台。タンクが内蔵式だったのが惜しいところ
7位	cado STEM630i 実勢価格▶4万9800円 タンク容量:2.3リットル	C	A+	B	B	B	場所ムラはあるが加湿力、ミストの勢いは圧巻。超音波式なので、小さな手入れは必須
8位	ダイソン Pure Humidity+Cool 実勢価格▶8万8000円 タンク容量:5リットル	A	B	A	B	B	加湿ムラ少なめ。リモコン操作可能で、使い勝手は◎。加湿以外も1台ですませるならアリ!
9位	KOIZUMI KHM-5592 実勢価格▶1万540円 タンク容量:6.5リットル	B	B	A	B	A	上位陣と比べ多少見劣りするが、普段使いには十分な性能。価格が抑えめなのもうれしい
10位	CORONA UF-H5019R 実勢価格▶1万1078円 タンク容量:4リットル	B	B	B	B	B	KOIZUMIと同じような結果に。使い勝手などで、もう一工夫あるとなお良かった
11位	TaoTronics TT-AH025 実勢価格▶5999円 タンク容量:6リットル	C	B	B	A	S	静音性が特に優秀。給水は本体のその都度ひっくり返す必要があり、手間がかかった
12位	maxzen KSH-MX601 実勢価格▶7980円 タンク容量:6リットル	C	B	A	B	A	上部給水にリモコン操作と使い勝手は良い。値段優先なら悪くない選択肢かも

※清潔性の項目は p128-129 の結果を元に加熱式→S、気化式→A、超音波式→C、ハイブリッド(加熱気化)→A~B(臭いがあった場合はB)、ハイブリッド(加熱超音波)→Cで評価しております

順位	ブランド/製品名/価格	清潔さ	加湿性能	使い勝手	電気代の安さ	静音性	総評
1位	SHARP HV-J30 実勢価格▶1万73円 タンク容量:2.4リットル	A	S	A	A	B	電気代安めで、加湿力はバツグン。稼働音はほぼ敏感でない限り、気にならない。オススメの一台だ!
2位	Panasonic FE-KFS03 実勢価格▶1万3720円 タンク容量:2.1リットル	A	S	B	S	B	シャープと並び高性能。給水の際、タンクの取り出しに少し手間がかかるので、差がなかった
3位	アイリスオーヤマ KSHM-260RA 実勢価格▶3980円 タンク容量:2.4リットル	S	A	B	B	A	タイマーなどが無いシンプルな作りだが、加熱式で清潔な点と、ムラのなさが評価できるポイントだ
4位	ダイニチ HD-3019 実勢価格▶1万3480円 タンク容量:2.4リットル	B	A	B	B	A	加湿ムラのなさは上位陣並み。静音性も高いので、快適に使用できる一台だ。タンク給水の少し手間
5位	山善 KS1-A084 実勢価格▶2980円 タンク容量:0.8リットル	S	B	B	B	A	小型だが加湿はしっかりできた。水の減りが早いので、ちょっとした休憩や仮眠の際に使うなら全然あり
6位	アイリスオーヤマ KUHM-260B 実勢価格▶4980円 タンク容量:3リットル	C	B	B	A	A	給水が少々面倒だが、加湿性能はそこそこで、静音性◎。超音波式なので、小さな手入れが必要
7位	APIX AHD-160 実勢価格▶8720円 タンク容量:3.5リットル	C	B	A	B	A	加湿ムラ大きめ。またフタの隙間からミストが漏れるのも気になる。給水が楽なのはうれしいところ
8位	スリーアップ HF-T1952WH 実勢価格▶5910円 タンク容量:2リットル	C	C	A	A	A	ミストの勢いの割に加湿力に欠けた。電気代は安く、給水はフタを開け注ぐだけで使い勝手は悪くない

※清潔性の項目は p120-121 の結果を元に加熱式→S、気化式→A、超音波式→C、ハイブリッド(加熱気化)→A~B(臭いがあった場合はB)、ハイブリッド(加熱超音波)→Cで評価しております

睡眠中の乾きはSHARPで解決!

検証ののち清潔性・加湿性能・使い勝手を評価のメインに全製品をランキングしたところ……5畳以下対応の製品ではSHARPがベストバイに決定!なんといっても魅力的なのはムラのなさ、稼働時間の長さ。一度布団に入ったら朝まで出たくなくなる、この時期にはもってこいの性能。電気代が安いので長時間使っても、懐に優しいのも◎。2位のPanasonicも優秀。タンク内蔵式で水の補充が少々手間がかかるが、電気代はSHARPより安めで十分にオススメできる。

東芝 KA-X60 加熱式
実勢価格▶1万464円

SPEC サイズ:W26.4×D25.7×H30.2cm 重量:約3.5kg(コードセットを含む)
タンク容量:約4リットル タイマー:1・2・4時間(OFF)

部屋の乾きを逃さずうるおせる

菌が発生しづらく清潔に使える加熱式である上、加湿ムラのなさが際立っていた。部屋のどこにいても、乾燥に悩まされることはなくなるはず!

肌もノドもしっかり守れる



乾ききつた部屋は東芝でムラなくうるおせる

8畳以上対応の製品では東芝がベストバイに。菌の発生を抑えられる加熱式に驚異的な加湿ムラのなさを備えた、乾燥対策にはこれ以上ないほどの一台だ。電気代は多少かかるが、それ以上の魅力と性能アリ!

また使い勝手はバルミューダ、全体的なバランスの良さではSHARPなども優秀で、求める機能次第では使って損なし。毎年のように乾燥に悩む人は今からでも遅くない。冬の部屋こもりの快適度アップのため、ぜひ日常に取り入れよう!



KA-X60の
ココがスゴイ!

1 加熱式だから
清潔度が高い

この製品は今回の検証で菌が発生しづらいと判明した「加熱式」。他製品と比べ、菌への心配が少なくてすむ

2 ファン内蔵だから
蒸気が均一に広がる

ファンで効率的に蒸気を広げるため、加湿の際のムラのなさが驚異的。置き場所でも悩む必要なし!

3 加熱式の中では
加湿が始まるのが早い

加湿開始が他の加熱式の製品と比べかなり早かった。同方式の弱点を克服していると言って良いだろう



7分で加湿!
スイッチを入れて



SHARP HV-J30 気化式
実勢価格▶1万73円

SPEC サイズ:W32.2×D15.9×H31.6cm
重量:2.8kg タンク容量:2.4リットル タイマー:1・2・4時間(OFF)

冬の夜の乾きはこれで解決!

加湿力と稼働時間の長さが◎。気化式なのでフィルターの掃除をまめに、きれいな状態を保つとなお良し!



乾燥を忘れて熱睡でまます!

寝ている間もしっかりうるおう!

HV-J30の
ココがスゴイ!

1 気化式だけど
ムラなくしっかりうるおう

加湿性能では優れたムラのなさを発揮。寝室のどこにおいても、部屋中をしっかりとうるおすことができるはずだ

2 一晩中使用しても
水が切れる心配なし

最大モードで使用しても8時間近く、稼働可能。寝ている間に水が切れて、結局翌朝ノドが痛いなんて経験をせずにすむ

3 ミストが見えないから
就寝の邪魔にならない

寝ている時につけたけど、白いもやが出るようになる……。しかし本製品はミストが見えないので、そんな心配なし!



水の補充は外付けタンクに